

社会資本等の維持管理効率化・高度化のための情報蓄積・利活用技術



防災・メンテナンス基盤研究センター 建設システム課
 主任研究官 杉田 泰俊 研究官 桜井 真 施工管理技術係長 高野 佳明
 交流研究員 大山 憲英 交流研究員 遠藤 健司 課長 山口 達也

(キーワード) 維持修繕工事、積算、監督・検査

1. はじめに

社会資本ストックの高齢化に伴い、戦略的な維持管理の重要性が指摘されているが、今般改正された公共工事の品質確保に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針にもあるとおり、担い手育成確保のための適正な利潤が確保できる予定価格の適正な設定等に取り組まなければならない。これまでも、国土交通省では維持修繕工事の標準歩掛等の新設・見直しや共通仕様書の改訂等の改善を行っているが、職員数が少なくなってきたこともあり、調達から施工段階まで更なる効率化が求められている。

2. 維持修繕工事の効率化のための手段検討

維持修繕工事は施工条件や施工内容が多種多様であることから、標準積算基準の整備がなされていない工種が多く存在する。また、施工段階における監督・検査においても出来形の確認方法や品質管理基準等の整備がなされていない状況である。

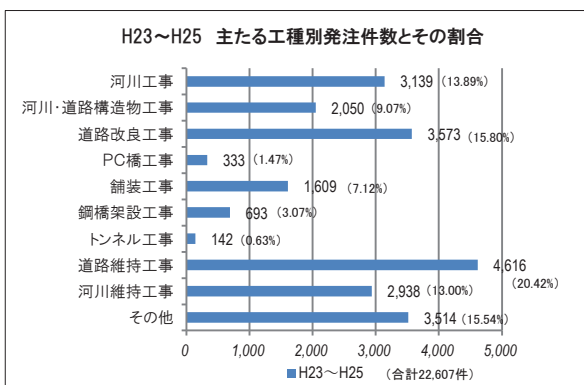


図 平成 23~25 年度主たる工種別発注件数とその割合

図は、積算実績データベースシステムに登録された平成 23~25 年度発注工事を主たる工種別発注件数とその割合を整理したグラフである。道路維持工事が最も多く約 20% を占めているが、対象施設の劣化状況や修

繕方法が多種多様であるため、標準積算基準の整備があまりなされておらず、見積を徴集しながら実施している工事が多い。

本研究では、維持修繕工事が抱える積算の効率化及び監督・検査手法の特徴について検討を行っている。

積算の効率化については、標準積算基準が整備されていない工種の積算における見積徴集の方法を検討するために、全国の直轄事務所より歩掛見積により積算した工事の発注関係資料を収集し、現場条件や施工条件など必要情報を整理分類することにより、工種毎に見積依頼時に必要とする情報の検討を行った。

また、監督・検査においては、アンケート調査と施工計画書を収集し、整理・分類することにより、現場で活用することができる出来形管理や品質管理項目について検討を行った。(表)

表 課題に対する検討項目

段階	業務内容	整理・検討内容
発注時	設計積算	積算体系
		図面事例
	見積依頼	特記仕様書記載内容
		現場条件
その他	施工フロー	
	技術情報	
施工時	出来形管理	実施項目と内容
	品質管理	項目と内容
	段階確認	時期と頻度
	写真管理	時期と頻度
	その他	監督職員との協議内容

これら情報は、今後の維持修繕工事の積算及び監督・検査においての参考となるようにとりまとめた。

3. 今後に向けて

引き続き関係部局と連携し、ブラッシュアップを行い、維持補修工事の効率化に向けた情報共有のあり方や役立つ情報等について、とりまとめていきたい。